

運転技能検査合格者の追跡調査の結果等について

1 運転技能検査について

75歳以上の高齢運転者のうち一定の違反歴を有する者は、運転免許証等の有効期間の更新時に、「一時停止」、「信号通過」、「段差乗り上げ」等を内容とする運転技能検査を受検しなければならないこととされている（令和4年5月13日施行）。

※ 令和7年中の運転技能検査の対象者数及び受検者数

対象者数：16万5,756人 受検者数：15万6,513人

2 運転技能検査合格者の追跡調査の結果

運転技能検査の導入から約4年が経過し、運転技能検査に合格した者の受検後の交通事故等の追跡調査を実施したところ、運転技能検査の合格者10万人当たりの事故件数等は、運転技能検査の対象ではない高齢運転者10万人当たりの事故件数等より多いこと等が明らかとなり、運転技能が低下して交通事故を起こしやすくなっている者が、運転技能検査に合格していることがうかがわれるため、運転技能検査の内容を充実させる必要があると認められた。

3 今後の予定

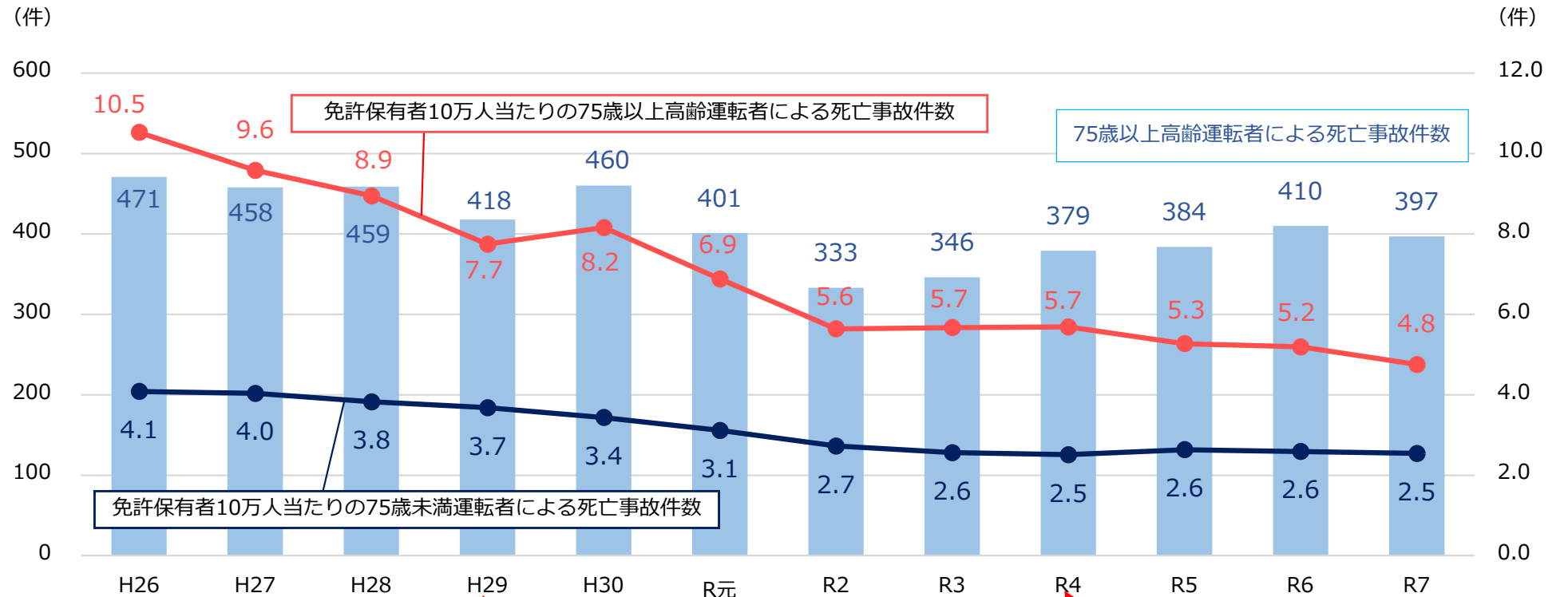
高齢運転者の更なる交通事故防止を図るため、学識経験者、指定自動車教習所業界関係者等を構成員とする「運転技能検査の見直しに関する有識者検討会」を開催し、運転技能検査の内容の充実に係る方向性等について幅広い観点から検討を行い、令和8年8月を目途に報告書を取りまとめる。

高齢運転者による死亡事故の状況

高齢運転者による死亡事故の状況

- 75歳以上の者による運転免許保有者当たりの死亡事故件数は依然として高い（75歳未満の者によるものの約2倍）。
- 更なる死亡事故抑止のためには、死亡事故実態に応じた対策の強化が必要。

死亡事故件数の推移



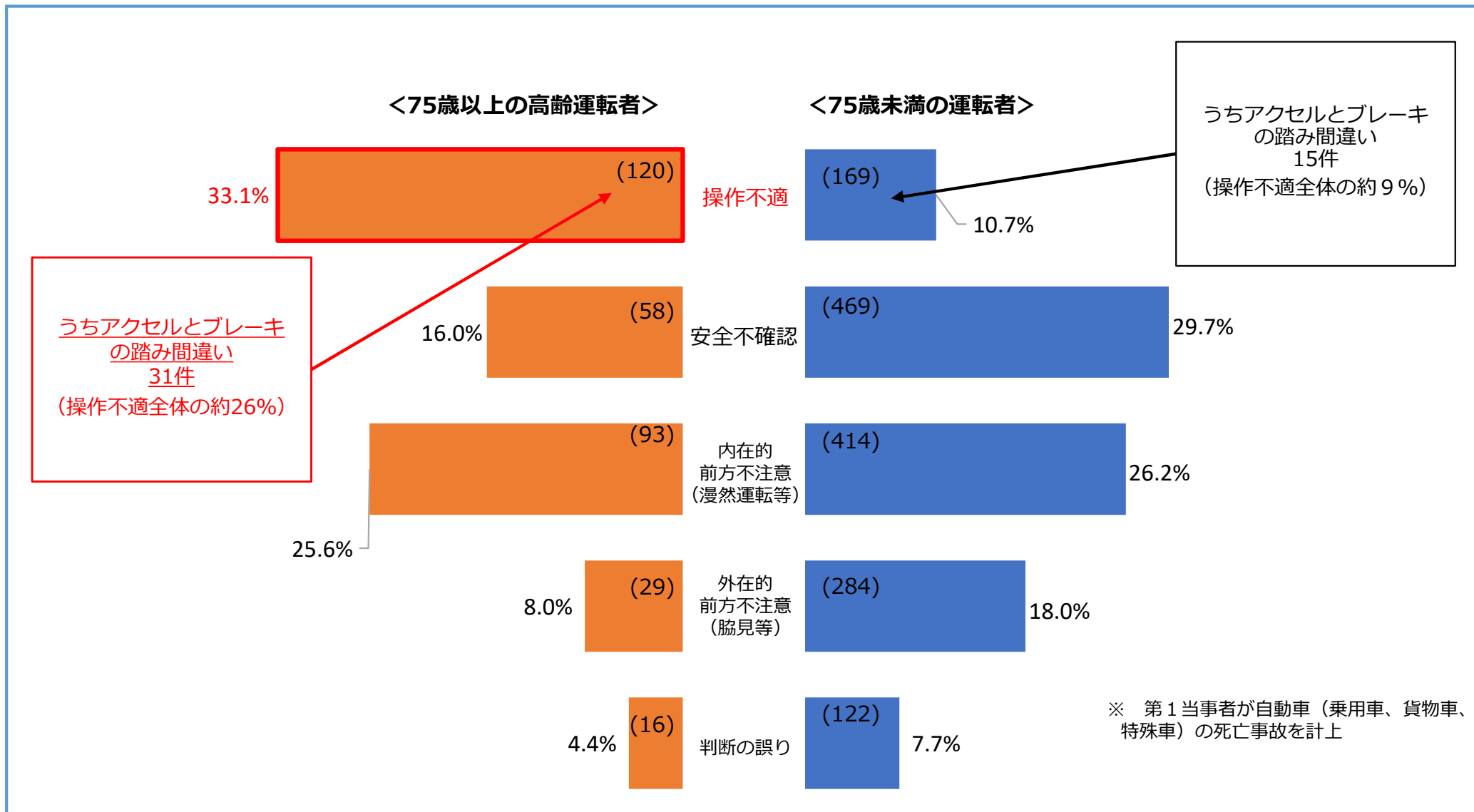
(注)

- ・ 第一当事者が一般原付以上（令和5年は特定小型原動機付き自転車を含む。）
- ・ 運転者の年齢が16歳以上の事故について集計。
- ・ 算出に用いた免許保有者数は、各年12月末の値である。

H29.3.12 臨時認知機能検査の導入（75歳以上）

R4.5.13 運転技能検査の導入（75歳以上）

人的要因別の死亡事故件数（令和7年）



ブレーキとアクセルの踏み間違い等の操作不適による交通事故

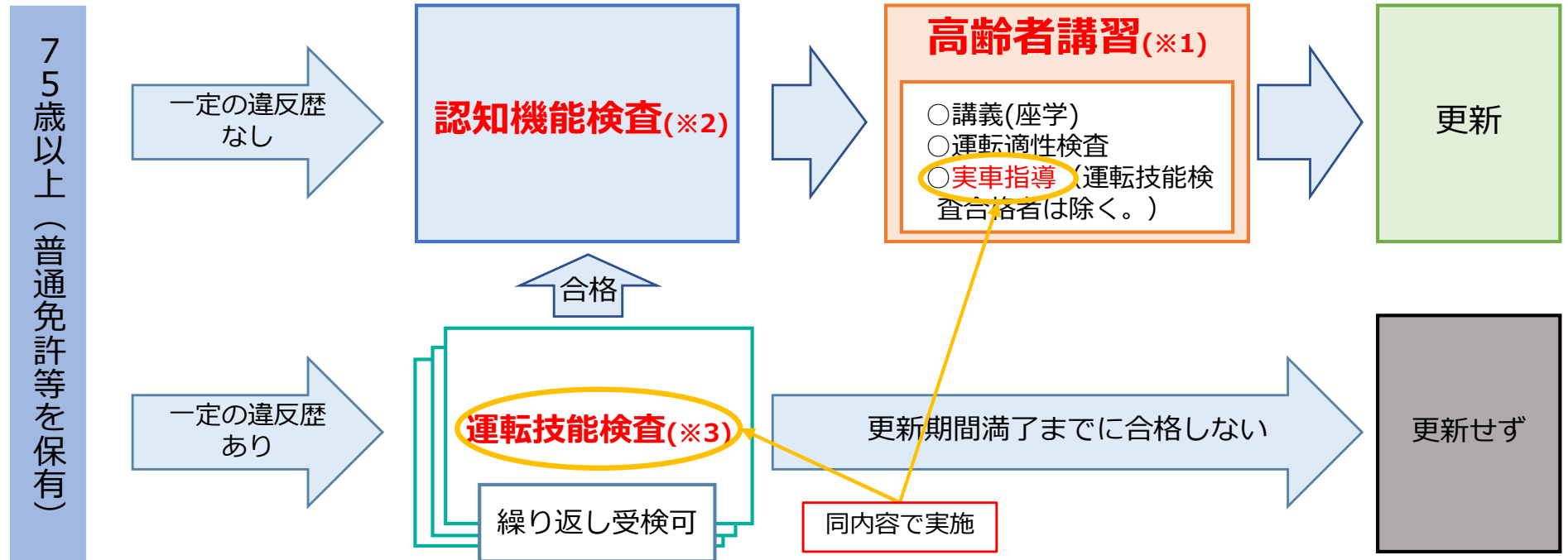
1	令和7年5月2日 死亡	長野県内のスーパーマーケット駐車場において、76歳女性が普通乗用車を運転して同駐車場内の通路を進行する際、自車を暴走させて、前方道路を横断歩行中の女性と衝突し、死亡させたもの。
2	令和7年10月15日 重傷	兵庫県内の金融機関駐車場において、83歳男性が普通自動車を運転して駐車する際、ブレーキとアクセルを踏み間違えて金融機関に突入し、76歳女性ら4名に傷害を負わせたもの。
3	令和7年10月31日 軽傷	山口県内の郵便局駐車場において、80歳女性が軽四乗用車を前進させて駐車枠に駐車しようとしたところ、ブレーキとアクセルを踏み間違えて自車を加速させ、郵便局建物に衝突し、同乗していた女性に軽傷を負わせたもの。
4	令和8年4月20日 重傷	東京都において、76歳男性がスクールバスを運転して小学校敷地内駐車場から公道に進出する際、車両前を歩いていた7歳女児を直前で発見、驚愕したことでブレーキとアクセルを踏み間違えて自車を急進行させ、女児と衝突し、傷害を負わせたもの。

高齢運転者対策の現状

近年の高齢運転者対策

- 令和2年の道路交通法の改正により、令和4年5月から、75歳以上の高齢運転者のうち、一定の違反歴がある者（※）を対象として、運転免許証の更新時に運転技能検査が導入され、4年が経過したところ。
（※） 過去3年間に信号無視、速度超過等の違反（合計16類型）がある者

高齢運転者の更新時の流れ



- ※1 平成10年に75歳以上を対象者として導入、平成14年に対象者を70歳以上に拡大
- ※2 平成21年に75歳以上を対象者として導入
- ※3 令和4年に75歳以上を対象者として導入

運転技能検査

運転技能検査の概要

- 75歳以上の高齢運転者のうち、一定の違反歴がある者が対象
- 運転行為の危険性に応じて減点方式で採点
- 受検者一人当たりの走行時間は概ね10分以上（検査全体で概ね20分間）
- コース内を走行し、以下の課題を実施
- 第一種免許は70点以上、第二種免許は80点以上で合格

○指示速度による走行



- ・指示された速度で安全に走行する
- ・できないときは、10点の減点

○信号通過



- ・赤色の信号機に従って、停止線の手前で確実に停止する
- ・できないときは、10点又は40点の減点

○一時停止



- ・一時停止が指定された交差点で、停止線の手前で確実に停止する
- ・できないときは、10点又は20点の減点

○段差乗り上げ



- ・段差に乗り上げた後、直ちにアクセルペダルからブレーキペダルに踏み換えて安全に停止する
- ・できないときは、20点の減点

○右折・左折



- ・右左折時に、中央線をはみ出したり、脱輪をしたりせずに安全に曲がる
- ・できないときは、20点又は40点の減点

○その他



- ・検査中、衝突等の危険を避けるために検査員が補助ブレーキを踏むなどしたときは30点の減点

令和7年中の実施状況

対象者：165,756人 受検者数：156,513人 合格者数：145,935人

※運転技能検査対象者に占める合格者の割合：88%

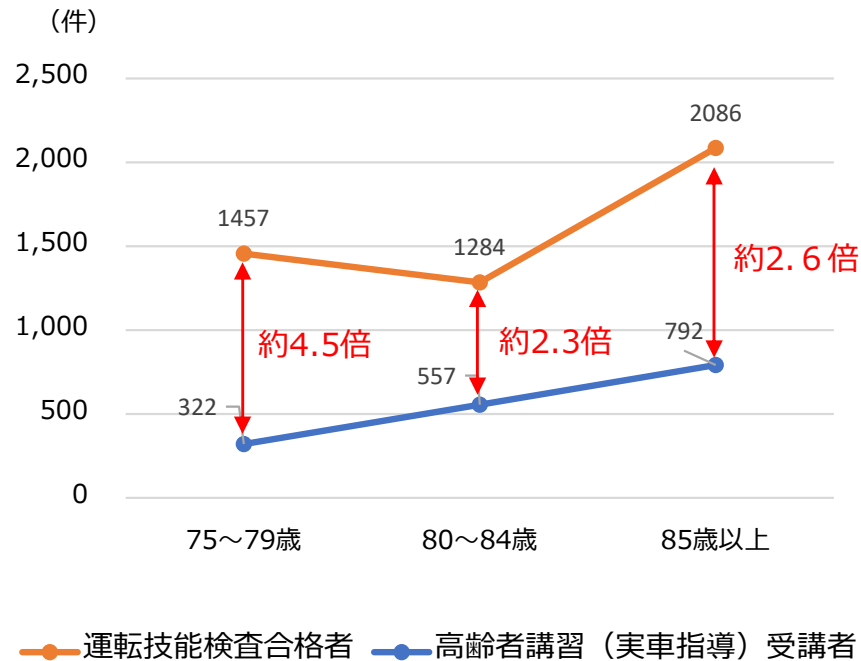
（運転技能検査受検者に占める合格者の割合：93%）

運転技能検査受検等後2年間の交通事故・交通違反の状況

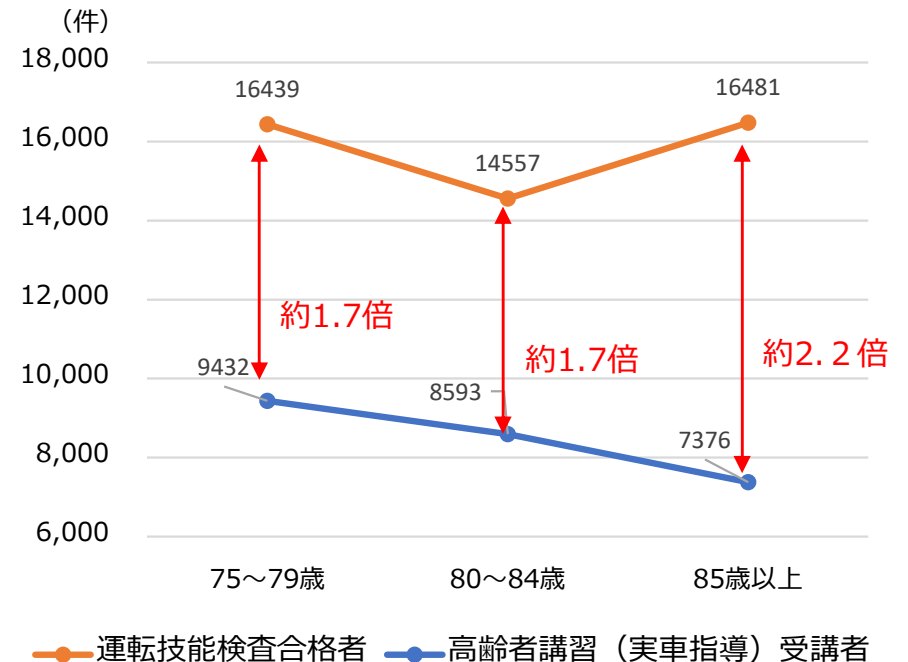
追跡調査概要

- 令和5年5月15日から8月31日までの間の運転技能検査合格者（5,270人）及び高齢者講習の実車指導（75歳以上）の受講者（8,233人）について、受検・受講の結果や受検・受講後の交通事故の発生状況等を追跡調査したもの。
 - ・運転技能検査合格者：過去3年間に一定の違反歴（信号無視、速度超過等）があることにより運転技能検査を受検し、合格した75歳以上の者
 - ・高齢者講習（実車指導）受講者：過去3年間に一定の違反歴がない75歳以上の者

10万人当たりの交通事故件数

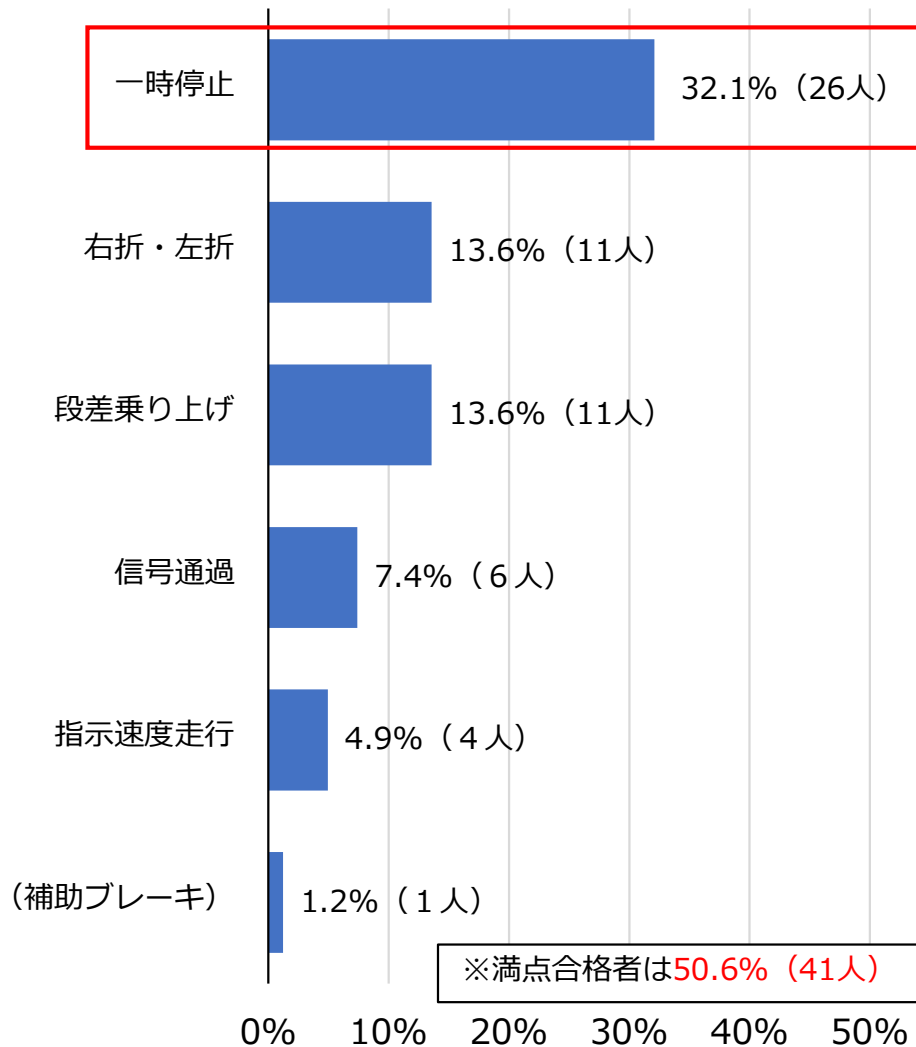


10万人当たりの交通違反件数



運転技能検査合格者の状況（追跡調査の分析）

交通事故を起こした運転技能検査の合格者（81人）が減点されていた課題



運転技能検査の合格者が起こした交通事故（延べ83件）

